



なばり

2011年(平成23年) 6月5日発行

主な内容

- 1~2……あなたの家の耐震性は大丈夫？
- 3……東山墓園墓所の使用者募集、日本脳炎予防接種
- 4……地上デジタル放送臨時相談コーナー、危険物安全週間

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

あなたの家の耐震性は大丈夫？



阪神・淡路大震災の揺れを再現(震度7)



写真は、実際に使用された築30年の木造住宅2棟。耐震化していない住宅(左)と耐震化した住宅(右)を震動台に移築し、阪神・淡路大震災で起きた地震を再現して、耐震補強の有効性を検証したものです。

▲耐震化した住宅

▲耐震化していない住宅

写真提供 防災科学技術研究所 Eディフェンス

住宅耐震Q&A

木造住宅耐震診断員に聞きました！

いつ起きてもおかしくないといわれている東海地震。名張市では震度5弱の揺れを想定しています。また、活断層である名張断層が引き起こす地震が起きると震度6強が想定され、耐震性の低い建物の倒壊が起こる可能性があります。

今号では、名張市や伊賀市で無料木造住宅耐震診断を行う耐震診断員に話を聞くとともに、耐震化に伴う市の補助制度などを紹介します。皆さんの住宅の耐震性は大丈夫ですか？

担当 繕住宅室 ☎63・7740



NPO法人三重県木造住宅耐震促進協議会 伊賀エリアマネージャー 滝井利彰さん

- Q** 地震が起こった際、どんな住宅が危険なのですか？
- A** 昭和56年5月以前に着工された木造住宅は、古い耐震基準で建てられているため、耐震性が低い可能性があります。平成7年の阪神・淡路大震災でも古い耐震基準の住宅が数多く倒壊しました。
- Q** 特に気を付けたほうがいいのはどのような住宅ですか？
- A** 窓・ふすま・扉がたくさんあり、壁の量が少ない住宅や、基礎がコンクリートでなかったり、瓦屋根などで、屋根が重そうに見えるりする住宅です。
- Q** このような住宅で、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅なら、ぜひ無料木造住宅耐震診断を受診してください。
- Q** 耐震診断はどれくらい時間がかかりますか？
- A** 調査は、家の大きさまにもよりますが、2時間もあれば終わります。診断は申込者に立ち会いし
- Q** 耐震診断の結果、耐震性が低いと診断されたらどうしますか？
- A** 結果は、診断の時点として数値で報告されます。「倒壊する可能性が高い」(評点0.7未満)、「倒壊する可能性がある」(評点0.7以上1.0未満)、「二心倒壊しない」(評点1.0以上1.5未満)、「倒壊しない」(1.5以上)の4つの区分に分かれます。まずは、自分の家の耐震性を把握していただきたいですね。
- Q** 診断の評点が低いと、耐震補強が必要になると思いますが、工費はいくらかかるのですか？
- A** 工費は各住宅により異なりますが、耐震診断の結果と併せて、「概算補強
- Q** 住宅の耐震診断、耐震補強工事のほかに地震に備えることはありますか？
- A** 窓ガラスなどに飛散防止フィルムを貼ったり、家具転倒防止のために固定金具を取り付けたりすることですね。ただし、家具に固定金具を取り付ける際、注意していただきたいのが、骨組みとなる柱に取り付けることです。石こうボードなどに取付けただけでは、家具と一緒に倒れて、家具が倒れてくるのが考えられますので気を付けてください。
- Q** 工費をお知らせしていますので参考にしてください。ただし、基礎の状況や、白アリ被害などにより工費が高くなる場合があります。
- Q** また、市には、木造住宅耐震補強工事などへの補助制度がありますので、活用いただきたいですね。

住宅の耐震化に伴う市の補助制度などを2ページに掲載